

2024 年度健康スコアリングレポートの実施方針

2024 年 3 月 14 日

2024 年度における健康スコアリングレポートについては、2023 年度の効果検証アンケート及び健康保険組合・企業ヒアリングにて確認された課題と対策を評価軸に沿って整理し、2023 年度健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループにおいて議論された内容を踏まえ、以下の方針で実施することとする。

(1) 対策の評価軸について

健康スコアリングレポート固有の価値や、2022 年度健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループで定めた中長期方針（※）に基づき、取るべき対策の評価軸を定める。

評価軸 1 健康スコアリングレポートはコラボヘルスが進んでいない層をメインターゲットにしたアップデートや取組を優先する。

評価軸 2 健康スコアリングレポート固有の価値をより高めるためのアップデートや取組を優先する。

（※）コラボヘルスが進んでいない層の底上げに取り組むとともに、コラボヘルスが進んでいる層のニーズにも応えていく。

(2) コラボヘルスが進んでいない層の保険者への対策

- コラボヘルスを推進するための研修事業の実施（評価軸 1）

健康課題の解決に向けた対策の立案・実行に係るノウハウを持っていないなどのコラボヘルスが進んでいない層の保険者が抱える課題に対して、事業主と健康課題を共有し、保健事業を実行するまでのノウハウを提供する。

- コラボヘルス推進の効果検証（評価軸 2）

コラボヘルスの費用対効果が不明などのコラボヘルスが進んでいない層の保険者が抱える課題に対して、コラボヘルスの実施が保健事業の実行環境に与える影響の定量分析などを行い、事業主へのコラボヘルス実施に係る訴求力を高めるための情報提供をする。

(3) コラボヘルスが進んでいる層の保険者への対策

• 健康スコアリングシステムの改修（評価軸2）

■事業主単位レポートへの医療費関連情報の追加

- レポートの訴求力向上への対策として、保険者単位レポートと同様の医療費関連情報を追加する。

■事業主単位レポートの基準人数引き下げ

- レポートが作成されない事業主への対策として、被保険者数50名未満の事業所にもレポート出力が可能となるよう、事業主単位レポートを改修する。なお、保険者向けアンケート及びヒアリングの結果と健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループでの検討の結果、下限人数は10名とする。

■健康スコアリングレポートのローデータの提供

- レポートの訴求力向上への対策として、健康スコアリングレポートのローデータをレポートと合わせてデータヘルスポータルサイトに格納する。

以上